

# OVERSEAS VOLUNTEERING

Issue No. 5 | 2023.8.16~8.26



## NEPAL VOLUNTEER

### 国の概要

インドと中国のチベット自治区に接する内陸国。様々な民族が暮ら

す多民族国家で、民族とカーストが複雑に絡み合っている。世界最高峰のエベレストを有するヒマラヤ登山の玄関口。国土の約8割が丘陵・山岳地帯。急峻な土地での暮らしは厳しく、世界で最も貧しい国の1つ。

## Purpose of volunteering overseas

海外ボランティアを通して、参加する子どもたちにとって大きな学びと成長の機会を提供したい。それは、異文化との接触は彼らの視野を広げ、自分の生活環境や価値観を再評価させることで自己認識を深める機会になると考えています。

また、現地の人々や子供たちとの交流、活動を通じて言葉や文化の壁を乗り越えたコミュニケーションの重要性や、

物質的な豊かさだけが幸福の源ではないことを実感できると思っています。この経験は、彼らの将来における人間関係の形成や問題解決能力の向上にも寄与するでしょう。海外ボランティアは、単なる活動ではなく、子どもたちの人生観を形成する貴重な経験となると願っています。

高3 JUN

僕は初めての海外でとても怖くて、さらに自分は人付き合いがものすごく苦手だったので英語も話せないし、他の参加者のみんなとうまく打ち解けられるかなど、ずっと不安で物凄く行きたくなかったです。移動中の電車や飛行機の中、ホテルでも先ほどの気持ちや不安は変わりませんでした。最初に現地の児童養護施設への挨拶に行きました。施設の子どもたちはみんな元気でとても明るく、僕らを迎え入れてくれました。みんなニコニコ笑っていて楽しそうでした。

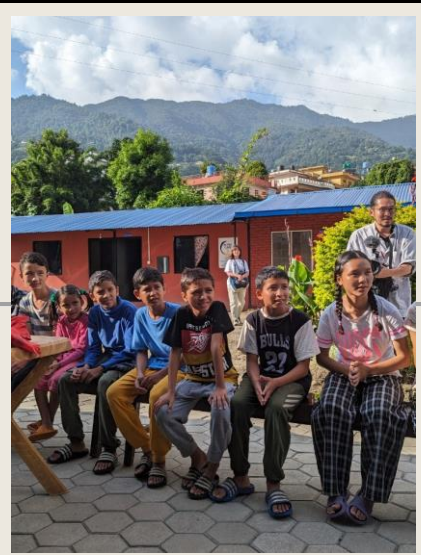
4 日目に午前中学校に日本文化の授業を行いに行きました。授業は4年生の子供達に行いました。授業は外で行い、ここで僕は記号を掲げる係で子どもたちの前で話すわけではなかったのですが緊張しました。授業のあとはアルバさんから教わったスペインのゲームを子供達と行いました。皆必死で取り組んでいて元気があって少し昔を思い出しました。午後は3日目に挨拶に行った施設へ日本文化を教えに行きました。この日は習字を行いました。皆初めてとは思えないほど上手で楽しそうにワイワイ書いてくれてよかったです。

9日目は午前中最後の学校に行きました。やることは4日目とあまり変わらなかったのですが、授業する学年が3年生に変わったのと雨天ということで室内で行いました。今回は僕が問題を読む係だったのですが、4日目と違い室内になったのと学年が下がったためかあまり声が届かなく、子ども達も落ち着きがなくとてもはしゃいでまとめるのがすごく難しく今になっても正直これでよかったのかと思ってしまいます。帰る時、子ども達がまた来てねなどと言ってくれてこれが最後であることが寂しくなりました。来てよかったです。

10日目は最後の施設に行きました。最後に帰る前に歓迎を受けてTシャツを貰いました。そして集合写真を撮って子ども達と別れました。あの子達と会えないと思うと少し寂しく、悲しくなりました。

そして、星美に戻りました。自分のクラスに戻ってすぐ風呂に入りました。向こうとは違いお湯が出てきました。お風呂に入って帰ってきたんだなと安心すると同時にもう彼らには会えないんだなと思うと少し寂しくなりました。

ここからは日本に戻ってきてからの感想ですが自分は平和ボケしているなと感じました。向こうの子ども達は暖かい風呂や綺麗な部屋、整った教室などが無くても楽しそうに暮らしています。ただ、自分は現地の風呂や部屋は汚いし物足りないと思ってしまいました。慣れれば全然気にならなかったことが最初は気になって仕方ありませんでした。クラクションが鳴り止まなかったのも道路が整備されていないからだと思います。だから日本はとても平和でここで生きていけるのはとても幸せなんだなと思いました。この幸せを忘れずに、ネパールで買った調理器具を使って料理を作りたいと思います。



高2 AM

私はこの10日の間で、様々なことに気が付くことができました。1番に感じたことは私たちにとっての幸せと、ネパールの子達にとっての幸せは違うものだという事です。日本で過ごしている中で、自分たちの当たり前はネパールの子達からするとすごい幸せな事かもしれないと感じられました。私は何かに取り組もうとする時や、行動しようとした際に、ほとんどはめんどくさい、やりたくないなと感じてしまいます。ですがネパールの子ども達は、何かをやりたくても出来ないことが多くあることを知り、当たり前に行えることに感謝して一つ一つ楽しむことを大切にしようと思いました。

最初はやっぱり10日間は長いなと思いました、いざ最終日になるとなんだかんだ短かったなと思いました。今回のボランティアで子どもたちの笑顔がとても印象に残っています。一人一人が一つ一つのアクティビティに、真剣かつ笑顔で参加してくれて、反応もすごく良く、言語が通じない中でも理解しようとする姿勢を見せ続けてくれ、とても嬉しかったです。この10日間、たくさんの子ともと触れ合い、たくさん笑顔を見ることができました。ボランティアの中で大変なことも、たくさんありましたが、子どもたちの笑顔や存在のお陰で、来て良かったと思うことができ、今後の生活に役立つ事も吸収することができました。こんな思いになれたのも、星美にいたからこそその経験だったので、今回参加することができ、本当に良かったと思えました。

今回の経験や思い出を糧に、自分が辛かったりマイナス思考になった際に今回出会った子達や思い出を思い出し頑張りたいと思います。また毎日なにもしなくてもご飯がでてきたりご飯を食べることができていたことなど、日常での当たり前を当たり前だとは思わず、感謝しながら生活していきたいです。そして日本での小さい幸せが、他国の子からしたらすごい大きな幸せなのだと気づき、これからは自分もめげずに頑張っていこうと思いました。

今回のボランティアの中で、英語が話せず聞き取ることも難しかったので、今後は英語を勉強し、少しでも多く会話ができるように励み、また同じような機会がありましたら、もっとたくさんの方とコミュニケーションを出来るようにしたいと思います。そしてこれからは先入観や、挑戦する前から不安がるのではなく、何事もま

ずはやってみようと感じました。

日本では暇な時間を潰せる物が多く、自分の本当にやりたい事や、やらなければいけない事などが出来ていないことが多くあるので、これからはもっと自分からやっ  
ていこうと思います。ネパールに行き、日々の生活のありがたさがよくわかりまし  
た。星美(児童養護施設)に、住んでるから幸せじゃないと思うこともあります。星  
美に、いるからこそ感じられる幸せもあると思うので、感謝を忘れず生きていき  
たいです。また機会があれば参加したいと思いました。



### 高3 I

私は、今回が初めての海外でした。

それも、観光とかではなくボランティアとしてネパールにいる子供たちに会いに行きま  
した。今回のボランティアではネパールの学校、児童養護施設に行き、日本の事を教え  
たり一緒にゲームをしたりしました。

ネパールについてから最初に言ったのは児童養護施設でした。私たちがバスを降りた時  
に子供たちがニコニコしながらこちらを見て(ナマステー)とどの子も挨拶をしてくれ  
ました。私は最初仲良くなれるか、え出迎えてくれてすごく安心しました。施設の方で  
は、外でバドミントンを本気でやったり、子供たちと近くにハイキングをしに行っ  
たり、回数を重ねて会う事に子どもたちもいたずらっ子が出てきたりお喋りが好きな子が  
沢山話しかけてくれたりとどんどん仲良くなっていきました。他にも、習字をしたり、  
縁日も開きました。

習字はあまり人気ないかなと思っていただけですごく人気でびっくりしました。皆、  
手本を見て書いていて日本人の私よりも全然上手な子とかいて少しドキッとしてしま  
うくらいでした。私は習字の時間に少し抜けて、児童養護施設のママと呼ばれる方のお手  
伝いをさせて頂きました。ママが、かわいた洗濯物のシーツを子供のベットに敷いてあ  
げたり、(小さい子と一緒に寝てるんだ)とか、夜大きい子が(ママ一緒に寝よう)と  
言ってきてくれるからそのベットも用意してるなどの話を聞いてママの愛をすごく感じ  
ました。

施設に行く最後の日までに、すごく仲良くなった女の子がいて、その子は18歳の女  
の子で私と同じ歳の誕生日が1週間違いの子でした。その子とは、なんで施設に来たの  
か、将来の夢とかたくさん話をしました。最後バイバイする時にはまた会おう  
ね。日本にも来てね。と別れがすごく寂しかったです。児童養護施設を出る時に少し泣  
いてしまいました。そのくらい良い友達が出来て嬉しいです。

学校では、日本の行事や建物などの問題をしたり、スペインから一緒にボランティアし

に来ていた子が教えてくれたゲームをしたりしました。

学校の子達も、皆笑顔が素敵で、私たちが来た瞬間大騒ぎをして、とても嬉しかったです。ネパールの子どもたちは、問題もゲームも本気でチャレンジしてくれて、ゲームの時には人が出るんじゃないかぐらい真剣に取り組んでくれて、準備にすごく不満を言っていたけどこんなにいい笑顔を見せてくれるならいくらでも準備します。という気持ちになりました。

最後の学校の日、私自身のせいで行けなかったです。そこはとても悔しいです。

けど、近所のネパール人の方と交流することができ、ネパールの方たちの温かさをすごく感じる事が出来た日になりました。

私は、今回ネパールに行くことが出来てたくさんの学びと成長をすることが出来たと思います。ネパールの街を歩いていると、人々がすごく助け合っていたり、知り合いが何人もいて仲良くしていたりして皆が笑顔なのがよく見られます。日本では、他人に興味を持たないというかどこか他人行儀で街中で笑顔な人を見ることはあまりないと思います。日本は豊かで発展はしているけれど、ネパールの人たちの温かさには勝てないと思いました。

ネパールに行って、自分の持っていた価値観が変わり、こんなに物が揃っていて温かいお湯のお風呂に入り美味しいご飯が毎日食べられることが当たり前じゃない事を身をもって実感させて頂き、より感謝をするようになりました。

私はあまり自分に自信がなくてネガティブです。ですが、今回、ネパールに行き私たちが来たことに喜んでくれる子供たちを見て、自分にできることがある、そして、自分自身の心の弱い部分もみんなの笑顔を見て強くなって今までは援助してもらっていた私も、小さな事でもする側になりたい。と感じました。

貴重な経験をさせて頂いた、スシさん、かよこさん、本当にありがとうございました。



## 高2 SU

観光に行った際にストリートチルドレン？か分からないけど、「これ買いませんか」とか「お金ください」と言ってくる子がいました。YouTubeなどで気になって見たりしたことはあったので存在は知っていましたが、実際に体験してみて、貧困層が多いんだらうなと思ったり、格差は生まれてるんだらうなと思えさせられました。そういった子達にごめんねと言いながら何も出来ずにただ通り過ぎて行くことしかできなかったことにも気づけたので、経済について自分なりに学んだりしてもっと理解を深めて何か

出来る出来ないか探してみようと考えました。

また、英語で会話ができたこともよかったです。

初めはネパール語しか通じないから、英語は諦めた方がいいと言われていたのですが、来てみたら英語通じる人が周りに多かったのととても嬉しかったです。私は英語が苦手だけど、英語が喋ればもっと色々な人の話が聞けたり、コミュニケーションを楽しめると思って英語の勉強を頑張ろうという気持ちが強かったので、色々な人と英語で会話できてと言っても、聞くことも怪しいし淡白な返事しか出来なかったけど、とてもいい経験だと思いました。より自分が勉強したいと思うモチベーションにも繋がりました。

そして、笑顔の影響力に気づくことができました。

学校でボランティアしていた時や、施設の方でみんなと会話したり遊んでいると、どうしても言語の壁があるので、伝わらないことが多いけれど、子どもたちはいつも笑顔でいることが多くて、楽しそうにしてくれたり、喜んでたりする姿を見ていると自分たちまで影響されて笑顔になり、不安だったこととかも全部が消え去るくらいの元気を貰えたことがすごく良かったです。ストレスもあったけど、笑顔で迎え入れてくれただけでストレスも飛んだのでそこに気がつけたことがとても良かったです。

### 高3 KOU

今回海外ボランティアに参加して、ネパールに行かなかったら分からなかったことや日本との文化の違いなど体験できてすごく勉強になりました。

ネパールの人たちはみんな優しくフレンドリーで学校や養護施設の子達も初対面のはずなのにすごい仲良くしてくれて、クイズやゲーム、遊びなども進んでやってくれて子ども達がすごくいい笑顔でいてくれるから、僕も笑顔になれたしすごく楽しかったから、すごくいい場所だなって思えた。言語がわからなくても伝わるものはあるのだと実感できた。ネパールに来てほんとに全部が忘れられない思い出だと思いました。

僕たちが施設に遊びに行った時、子ども達は僕たちとすごく楽しく遊んだりしていたけど、僕たちが帰った後は、遊んだりせず宿題始めたりお手伝いしたりなどすごくメリハリがあるなと思いました。それに、朝早く起きて勉強したりと、ダラダラしていることがないそうで、勉強ちゃんとしてお手伝いもして、施設の子たちは僕よりも何十倍も大人だなと思いました。施設の子達から学ぶことがすごくありいい経験になったと思いました。この海外ボランティアで気付けたこと感じたこと新しい発見などがたくさんあったので参加して本当に良かったと思いました。

ネパールという国がどんな場所かわからなかったですが実際に行って、人が優しくったり、ご飯が美味しかったり日本に帰ってきてネパールがすごくいい場所だったなと思えたので初海外がネパールで本当に良かったと思っています。（トイレは紙があればなんとかなるってこともわかったし。笑）

